

第35回全日本少年サッカー岩手県大会 開催要項

1. 趣 旨 財団法人日本サッカー協会は、日本の将来をになう少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全な心身の育成・発達を図ることを目的に全日本少年サッカー大会を開催する。この大会は少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成を目指すものである
2. 主 催 (財)日本サッカー協会 (財)日本体育協会日本スポーツ少年団 読売新聞社
3. 後 援 日本テレビ放送網 報知新聞社 テレビ岩手 岩手県教育委員会
(財)岩手県体育協会岩手県スポーツ少年団 盛岡市 盛岡市教育委員会
(財)盛岡市体育協会盛岡市スポーツ少年団
4. 特別協賛 みちのくコカ・コーラボトリング YKK 花王
5. 協 賛 日清オイリオグループ ゼビオ 日本マクドナルド ゆうちよ銀行
6. 協 力 (株)モルテン
7. 主 管 (社)岩手県サッカー協会 (社)岩手県サッカー協会4種委員会
盛岡市サッカー協会 盛岡市サッカー協会4種委員会
8. 期 日 平成23年6月11日(土)10時 1次ラウンドリーグ戦
12時 開会式
12日(日)10時 1次ラウンドリーグ戦
19日(土)10時 決勝トーナメント1回戦・準々決勝
26日(日)10時 準決勝・3位決定戦・決勝・閉会式
9. 会 場 盛岡南公園球技場(A・B・C・D)
10. 参加資格 (1)平成23年度(社)岩手県サッカー協会と岩手県スポーツ少年団に加盟登録したチームであること。
(2)上記チームに所属する選手であり、(財)日本サッカー協会発行の登録選手証を有するもの。
(3)地区予選に登録された選手が、異なるチームへ移籍して本大会に参加することはできない。
11. 参加チーム及びその数 各地区予選を勝ち抜いた29代表、開催地代表1チーム及び沿岸10チームの合計40チーム。
(1)チームの構成は選手20名以内、引率指導者3名以内とする。
(2)引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。
(3)参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
(4)参加チームは必ずスポーツ安全傷害保険に加入していること。
12. 競技方法 (1)40チームを8グループに分け1次ラウンド(1グループ5チームのリーグ戦)を行い、各グループ上位2チームが決勝トーナメントに進出する。
(2)1次ラウンドにおける順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
①全試合の得失点差(総得点-総失点)
②全試合の総得点
③当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
④①~③の全項目において同一の場合は、当該チーム同士によるPK方式により決定する。
(3)試合時間は40分(20分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。規定の競技時間内に勝敗が決定しない場合は1次ラウンドにおいては引分けとする。決勝トーナメント1回戦・準々決勝においてはPK方式により次回戦への進出チームを決定する。準決勝は10分(5分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しな

い場合は PK 方式により次回戦への進出チームを決定する。決勝戦は 10 分（5 分ハーフ）の延長戦を行い、勝敗が決しない場合は 10 分（5 分ハーフ）の再延長戦を行い、なお決しない場合は PK 方式により優勝チームを決定する。なお、延長・再延長戦に入る前のインターバルは 5 分、PK 方式に入るまでのインターバルは 1 分とする。

13. 競技規則 8 人制サッカールール（財団法人日本サッカー協会 2009 年 10 月 31 日発行）を準用する。但し、以下の項目については本大会用として大会規則を定める。

- (1) 競技者の数：8 人（うち 1 人は GK）
- (2) 交代できる数：選手エントリー 20 名以内のうちから先発 8 人を除いた 12 名以内。
1 度交代で退いた選手は、交代により何度でも出場が可能とする。
- (3) 交代の手続：①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
④交代について、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
- (4) ベンチに入ることができる人数：15 名以内（指導者 3 名、選手 12 名）
- (5) 審判員：主審 1 名、副審 2 名、第 4 審判 1 名とし、1 次ラウンドは帯同審判が行う。
決勝トーナメントは審判部が担当する。
- (6) テクニカルエリア：設置する。
- (7) ロスタイムの表示：実施しない。
- (8) ファウルと不正行為
 - (A) 警告・退場：通常の競技規則に準ずる。
 - (B) 退場：当該チームは交代要員から競技者を補充することができる。
 - (C) 大会期間中、警告を 2 回受けた選手は、次の 1 試合に出場できない。
 - (D) 本大会において退場を命じられた選手は次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律フェアプレー委員会で決定する。
- (9) 競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許可される指導者の数：2 名以内
- (10) 登録選手証・監督証：本大会に参加する選手・監督は、（財）日本サッカー協会の発行した登録選手証・監督証を持参すること。
- (11) 競技場
 - ・ピッチ：縦 68m×横 50m を標準とする。
 - ・ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に 4m、その地点からゴールラインに直角 4m
 - ・ペナルティエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に 12m、その地点からゴールラインに直角 12m
 - ・センタークル：半径 7m
 - ・ペナルティマーク：8m
 - ・ペナルティーク：半径 7m の半円弧
 - ・フリーキック時の壁との距離：7m
- (12) ゴール：5m×2.15m（少年用サッカーゴール）を使用する。
- (13) ボール：4 号球
- (14) コーナーキック：ボールがインプレーになるまで相手競技者は 7 メートル以上離れる。

14. 参加申込 (1) 所定の参加申込書を 5月27日(金) 18 時までに（社）岩手県サッカー協会事務局まで提出すること。

(2) 登録選手の変更（入替）については 3 名を上限に、変更（追加）については 20 名の枠内まで認める。所定の様式を監督会議の際に提出すること。

15. 組み合わせ 5 月 29 日（日）14 時よりサンビレッジ紫波軽運動室にて各地区競技部員の立ち会いで組み合わせ抽選会を行う。

16. ユニフォーム (1) ユニフォームは参加申込時に登録したユニフォームを着用すること。但し、チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。ま

た、チームは試合会場に正・副 2 組のユニフォームを持参しなければならない。背番号は 1～20 の通し番号とする。

(2) ユニフォームへの広告表示については(財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、**平成 23 年 5 月 27 日**までに承認された場合のみこれを認める。

(3) その他の事項については(財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

17. 監督会議及び審判員の打合せ

(1) 監督会議を 6 月 11 日(土) 9 時から盛岡南公園球技場大会議室(球技場 1 階中央)で行う。チーム受付を済ませてから出席すること。

(2) 帯同審判員の打合せを同じく 9 時から小会議室(球技場 1 階北側事務室向かい)で行う。帯同審判員 1 名は必ず出席すること。

18. 開会式 6 月 11 日(土) 12 時より盛岡南公園球技場で行う。選手は 11 時 50 分にユニフォーム・スパイクを着用し、団旗を持って整列すること。

19. 閉会式 6 月 26 日(日) 決勝戦終了後、盛岡南公園球技場で行う。

20. 表彰	優勝	優勝カップ	読売新聞社
		賞状	岩手県サッカー協会
		優勝メダル(22 個)	テレビ岩手
	準優勝	賞状	岩手県サッカー協会
		準優勝カップ	岩手県サッカー協会
	第 3 位	賞状	岩手県サッカー協会
	第 4 位	賞状	岩手県サッカー協会
	敢闘賞	3 位チームへ	特別協賛者(コカ・コーラ)
	努力賞	4 位チームへ	特別協賛社(YKK)
	グッドマナー賞	望ましいチームへ	特別協賛社(花王)
	副賞	優勝チームへ	協賛社(ゼビオ)
	副賞	準優勝チームへ	協賛社(ゆうちょ銀行)
	優秀選手賞	20 名	岩手県サッカー協会 4 種委員会

21. 審判割当 4 種委員会審判部にて割当するので所属審判員(有資格者)を必ず帯同すること。

22. その他 (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。

(2) 本大会要項に記載されていない事項については大会実行委員会において協議の上決定する。

(3) 優勝チームに第 35 回全日本少年サッカー大会決勝大会の岩手県代表の出場資格を与える。